## 平成26年度事務事業評価シート

(事業費と事業にかかる人件費の合計)

総事業費

<u> </u>	情報					_					
事務事業名 競艇事業経営基盤強化推進					進事業	担当部署		競艇事業課			
総合計画体系						根拠流	去令				
基本	<b>基本政策(大項目)</b> 4 おおきく躍動みんなで創るまちづくり					計画					
政	政策(中項目) 1 全員参加			lるまち なると		:	開			00 左曲	
	(小項目) 行財政運営					事業	始	平成		26 年度	
	施策	5 3	効率的·効果的	的な行財政運営の推進		期間	終	土中			
Ž	基本事業	2 ,	財政の健全化			期		未定			
◎事業概要(PLAN)											
			□個人 □世帯 □団体				□ その他 □ 内部管理				
事業 対象	誰(何)をす		ボートレース	鳴門							
事業目標											
<b></b>				指標名		24年度	25年	度 26年度 2	7年度 28年度	単位	
成果 目標	事業目標	の達成度合		ートレース鳴ンド建設事業							
◎実施	<b>运結果(</b> D	0)							ストルームでの		
事業											
	事業実施		□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	□ 一部委				補助金	_ その他		
		指	標名		24年度実績 2	25年度実績	26年月	度目標 27年度日	目標 28年度目標	単位	
活動抖											
実施したるの活動量す指標											
成果指標 対象にどのよ うな効果が				0			-   -	_			
あったかっ 指標	下す	目標法	達成率(実績/目	]標)				-   -	_	%	
		コスト分析		24年度実績	25年度実績			27年度	28年度	単位	
事業費	(財		が   おりまり   わりまり   おりまり   まりまり   まり	0	C	1,256	3,115	3,526,000	120,000		
			国	0	С	)	0	0	0	_	
	D_1.7E	県		0	C	)	0	0	0	)	
	財源内訳		地方債	0	C	)	0	0	0	千円	
			その他	0	C	)	0	0	0	0	
			一般財源	0	C	0 1,256,115 3,526,		3,526,000	120,000		
事業にかかる人件費(人件費内訳の合計)			0		32	2,585	32,585	32,585			
	人件	正規職員	(6,517千円/人)				5.0	5.0	5.0		
	費 内訳	臨時職員等	等(2,012千円/人)							人	

1,288,700

0

0

3,558,585

152,585

千円

## 【事務事業名: 競艇事業経営基盤強化推進事業】

◎平成26年の実施状況(DO')

現在の実施状況

平成25年度に増改築した外向発売所において、定期的にファンサービスを実施している。 平成26年度は宮島で30日(5節)、丸亀で6日(1節)、鳴門市施行のレースを代替開催する。 キャッシュレスカードの利用促進を図り、外向発売所における投票窓口の混雑を緩和するよう務める。 オラレ美馬の増築を予定しており、現在ボートレース振興会や美馬市等関係団体と協議している。

◎項目別評価(CHECK)					
	1.必要性の評価	理由等所見欄			
			① 廃止した場合に支障が出る。		
	_		② 施策 効率的・効果的な行財政運営の推進 <mark>の達成につながる事業である。</mark>		
	4		③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。		
	•		市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。		
			④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。		
	/10		⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。		
	2.有効性の評値	理由等所見欄			
事務事業の評価		\ <u>\</u>	市民生活上の課題解決に貢献している。		
			一 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。		
	8	V	② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
		V	V	③ 事業対象は適切である。	
		$\Box$	④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
	/10		⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
	3.効率性の評価	理由等所見欄			
		7	① 事業実施手法は適切である。		
	0	7	② 事業費を削減する余地はない。		
	0	7	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
		V	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	/10		⑤ 効率性向上の余地はない。		

◎今後の方向性(ACTION)										
課題	・平成25年度をもって経営改革アクションプランは期間満了となった。本場レース再開時には、中期経営計画と長期財務見通しの策定が必要となる。 ・今のところ外向発売所のみの売上としては好調に推移しているが、本場休催分を補填するほどではなく、今後は売上が低調になることも予想されるため、楽観できない状況である。 ・ボートレース業界全体の傾向として、今後も舟券売上は減少していくと予想されるため、大幅な売上向上は望みにくい。施設改善により施設にかかるランニングコストはこれまでより抑えられるが、多額の設備投資費用を償還しなくてはならず、その他の運営経費をできるだけ抑えられるよう、新施設での運営形態を研究していく必要がある。									
今後の方	向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3				
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。										
今後の 改革案	実施予定時期			<u> </u>						
	どのように改革するのか									